

E 就労について

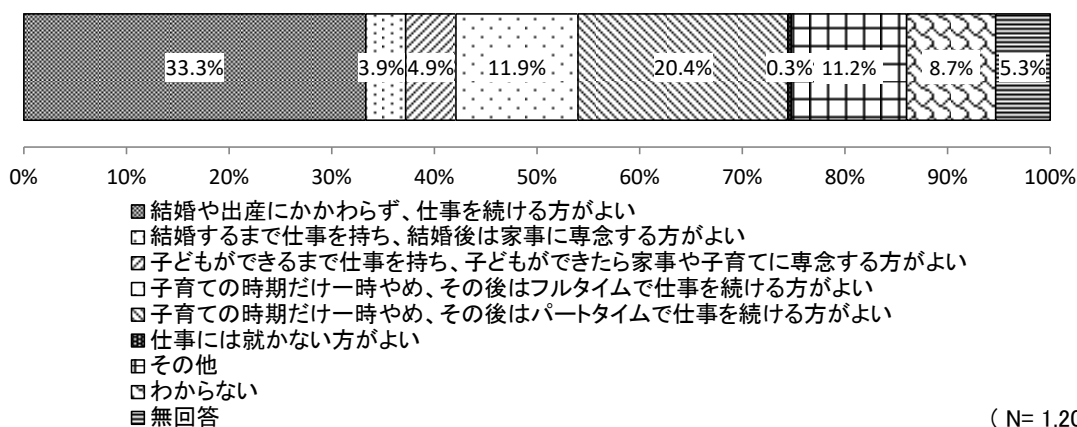
問 14 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は 1 つ)

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が 33.3%で最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」が 20.4%、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい」が 11.9%となっています。

性別では、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が女性 33.5%、男性 33.6%でほぼ同率となっているのに対し、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」は、女性 23.1%、男性 16.9%で性別により差異があります。

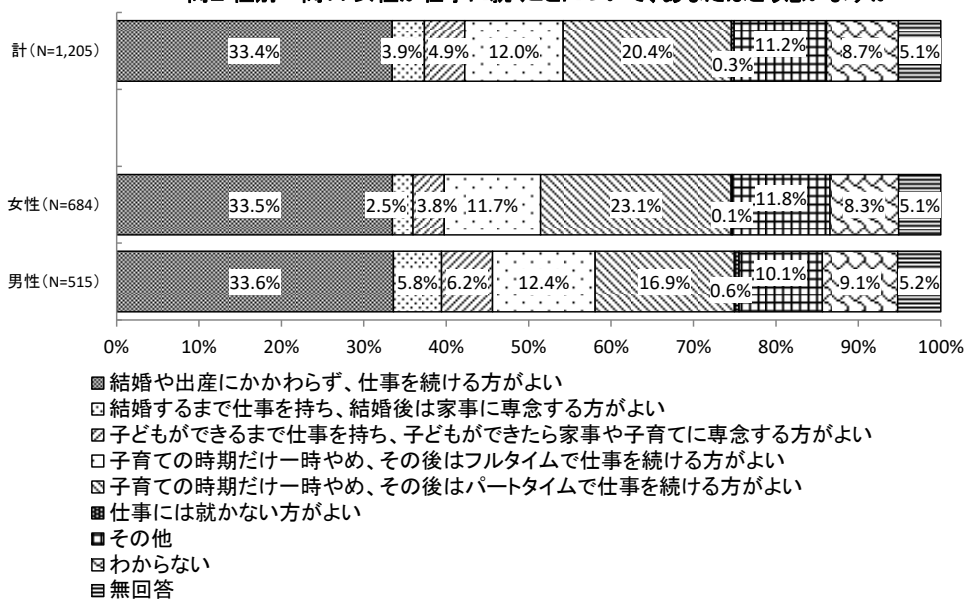
<全体>

問14 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか



<性別>

問2 性別 × 問14 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか



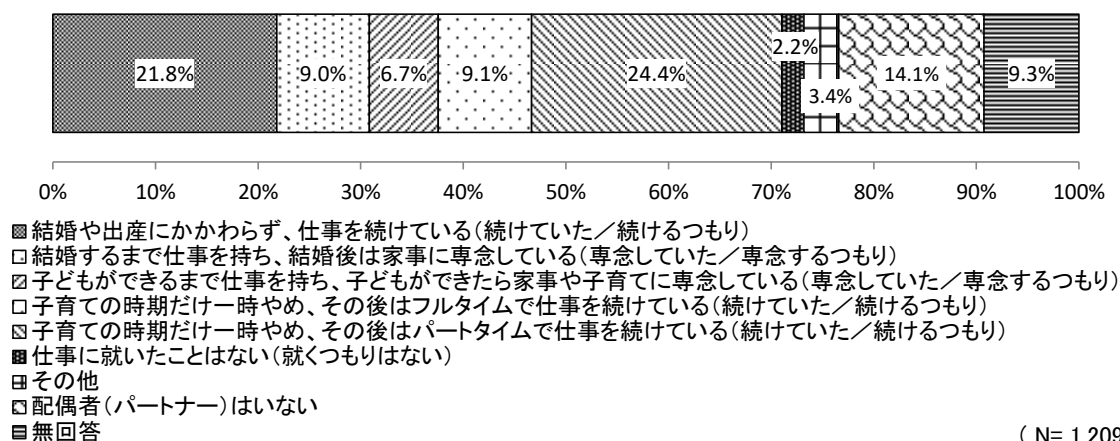
問 15 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性のご自身について、男性は配偶者（パートナー）についてお答えください。（〇は 1 つ）

「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が 24.4%で最も高く、次いで「結婚や出産にかかわらず、仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が 21.8%となっています。

性別では、女性は「結婚や出産にかかわらず、仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が 25.9%で最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が 25.3%となっています。男性は、配偶者（パートナー）が「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が 23.7%で最も高くなっています。

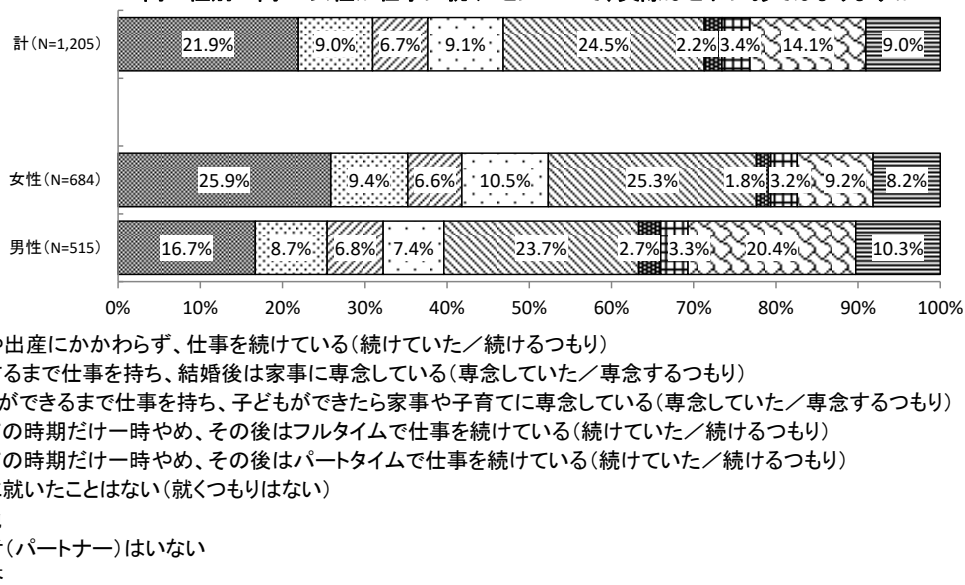
<全体>

問15 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか



<性別>

問2 性別 × 問15 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか



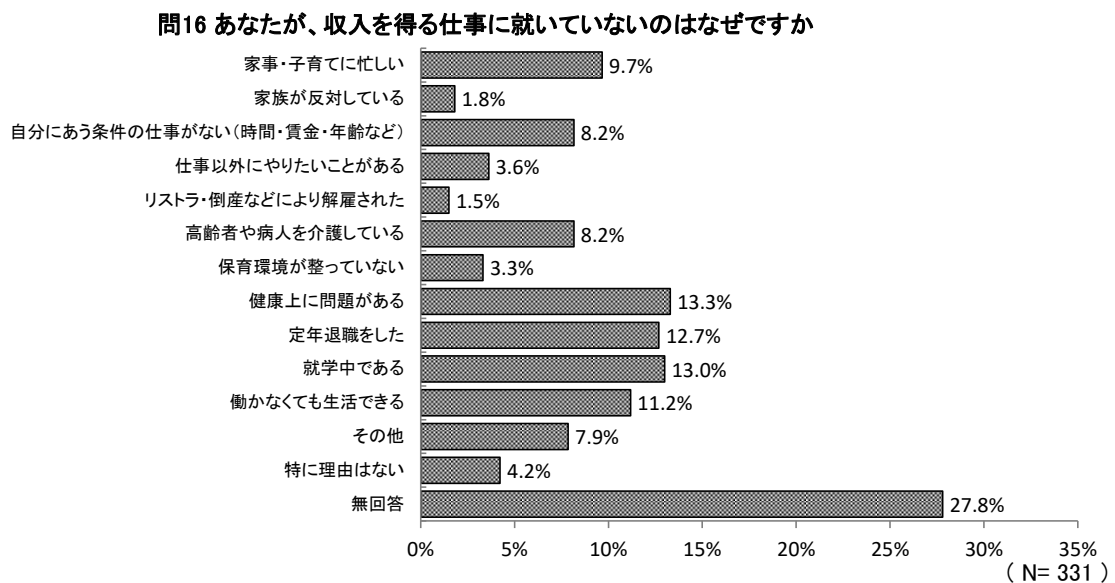
問 16 働いていない方にお尋ねします。

あなたが、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

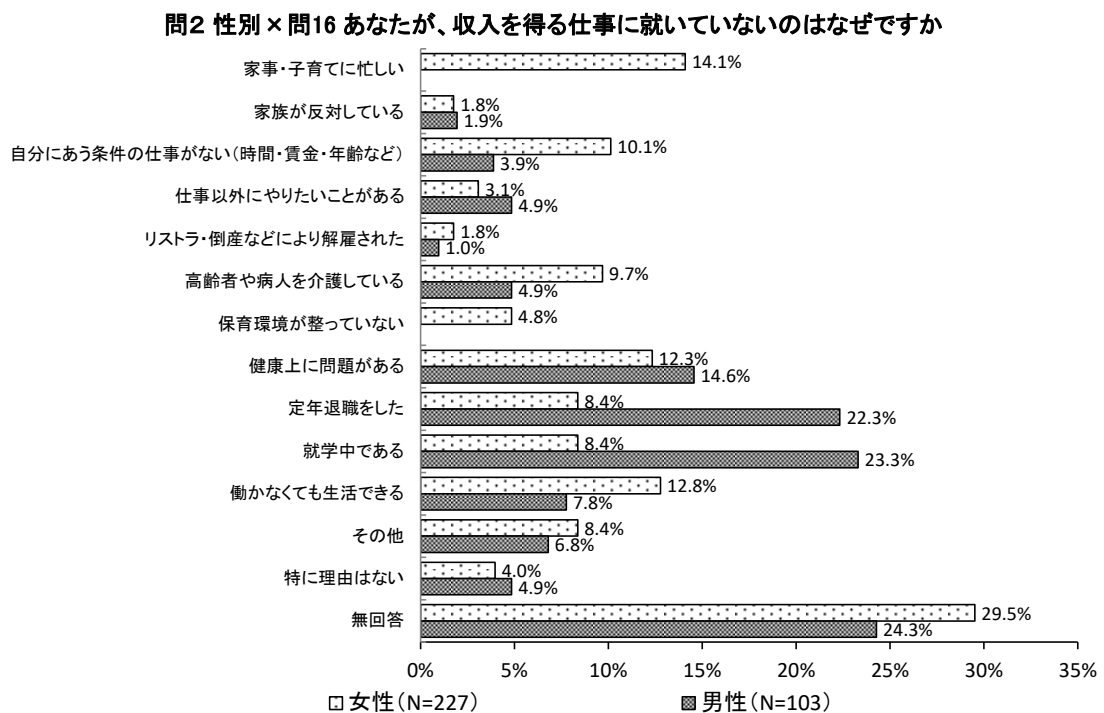
「健康上に問題がある」が 13.3%で最も高く、次いで「就学中である」13.0%、「定年退職をした」12.7%、「働かなくても生活できる」11.2%となっています。

性別では、女性は「家事・子育てに忙しい」が 14.1%で最も高いのに対し、男性は「就学中である」が 23.3%、「定年退職をした」が 22.3%でそれぞれ高い割合を占める一方、「家事・子育てに忙しい」、「保育環境が整っていない」と回答した人はいませんでした。

<全体>



<性別>

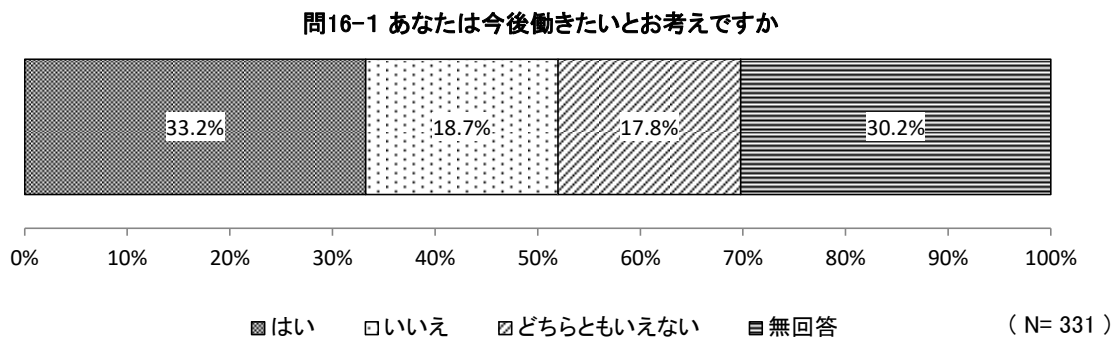


問 16-1 あなたは今後働きたいとお考えですか。(○は 1 つ)

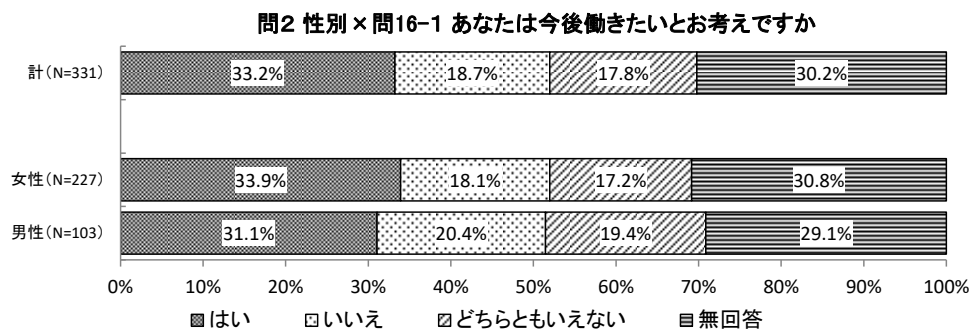
「はい」が33.2%で最も高く、次いで「いいえ」が18.7%、「どちらともいえない」が17.8%となっています。

性別では、「はい」は女性が33.9%、男性が31.1%で、女性が男性を上回っています。一方、「いいえ」は女性が18.1%であるのに対し、男性は20.4%で、男性が女性を上回っています。

<全体>



<性別>



問 17 配偶者（パートナー）が働いていない方にお尋ねします。

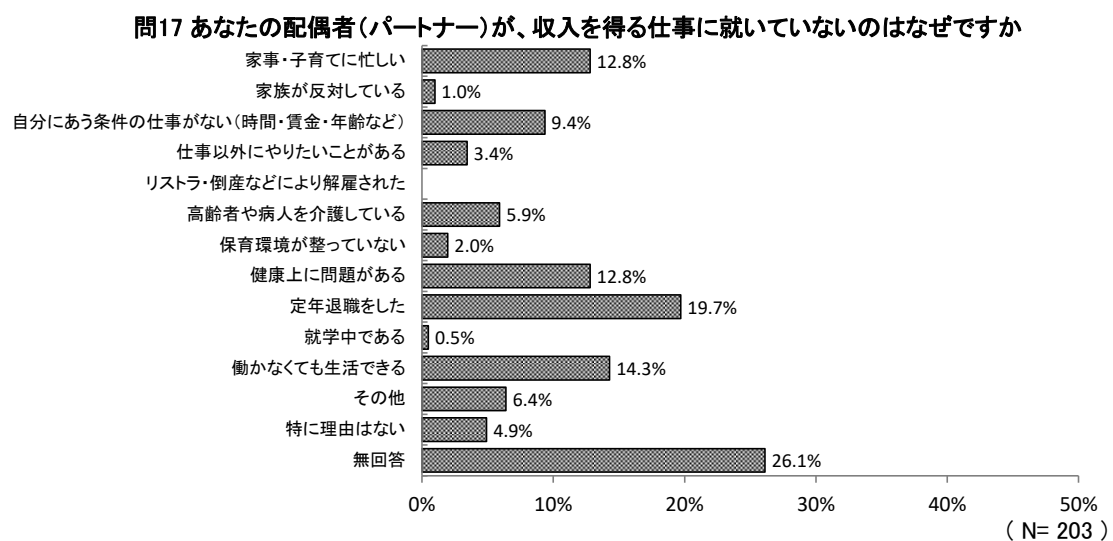
あなたの配偶者（パートナー）が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。
（〇はいくつでも）

「定年退職をした」が 19.7%で最も高く、次いで「働かなくても生活できる」が 14.3%となっています。

性別では、女性は「定年退職をした」と答えた割合が 42.1%で最も高いのに対し、男性は「家事・子育てに忙しい」が 20.5%で最も高く、次いで「働かなくても生活できる」が 18.9%、「健康上に問題がある」が 15.0%となっています。

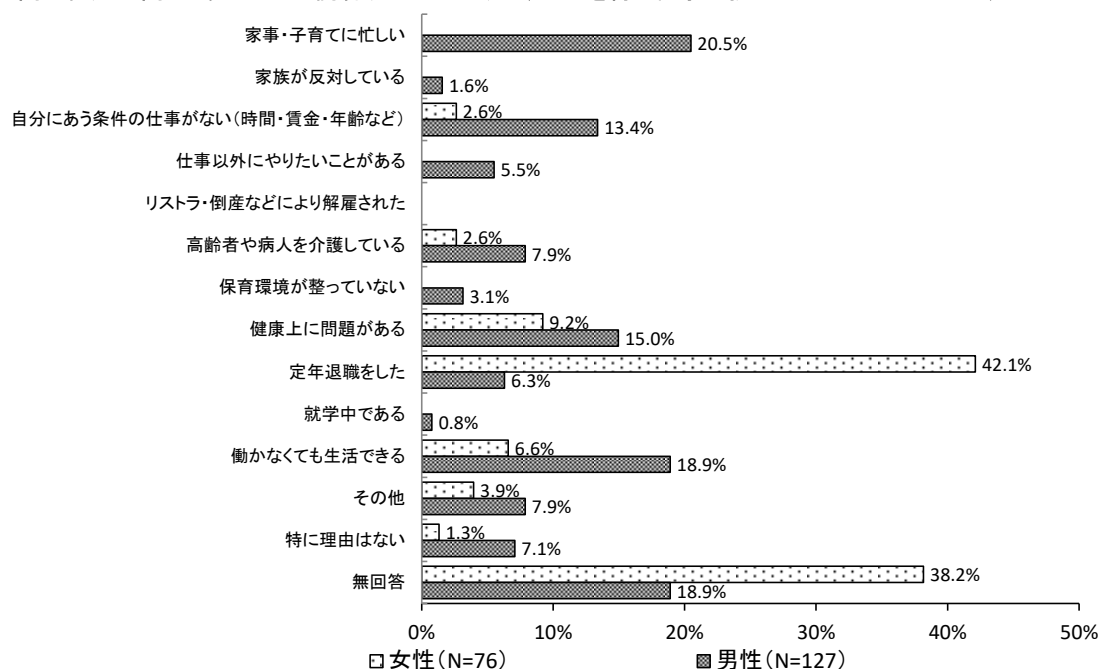
いずれの理由も性別で差異がありますが、特に、配偶者（パートナー）が「家事・子育てに忙しい」と回答した女性はいなかったのに対し、男性は 20.5%で性別により大きな差異があります。

<全体>



<性別>

問2 性別 × 問17 あなたの配偶者（パートナー）が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか

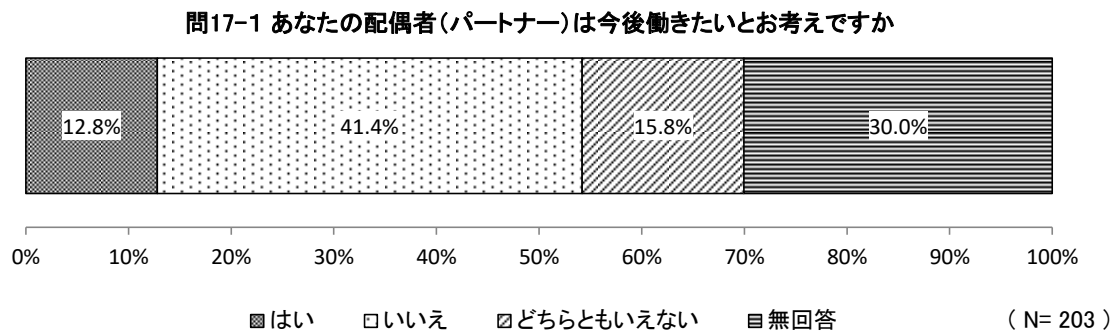


問 17-1 あなたの配偶者（パートナー）は今後働きたいとお考えですか。（〇は1つ）

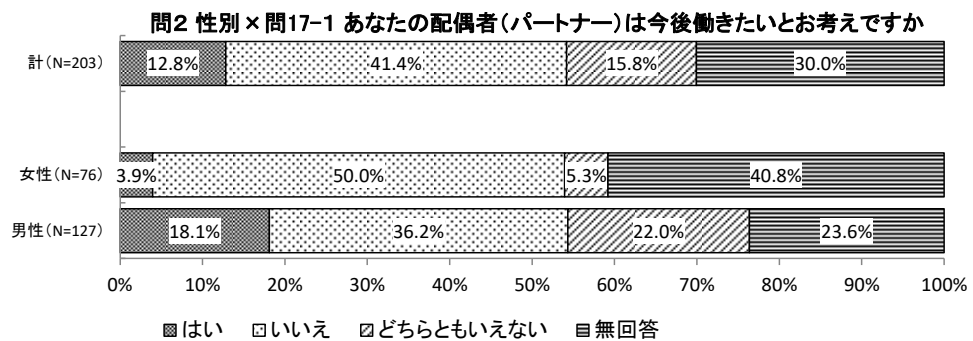
「いいえ」が41.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が15.8%、「はい」が12.8%となっています。

性別では、女性は「いいえ」が最も高く50.0%と半数を占めるのに対し、男性は「いいえ」が36.2%、次いで「どちらともいえない」が22.0%、「はい」が18.1%となっています。

<全体>



<性別>



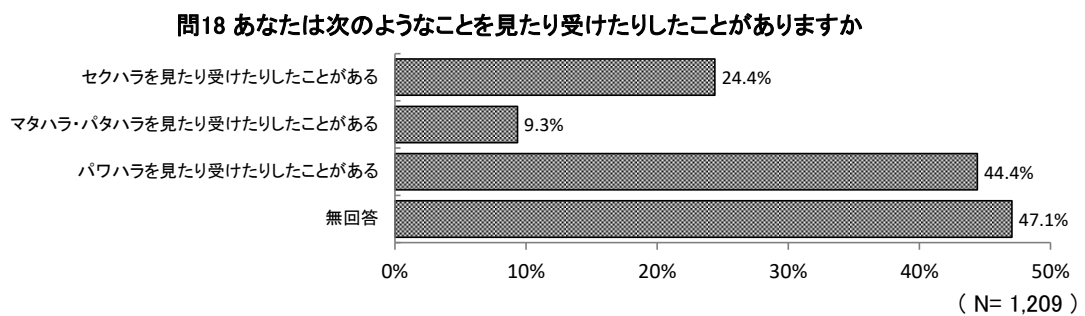
問 18 すべての方にお尋ねします。

あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

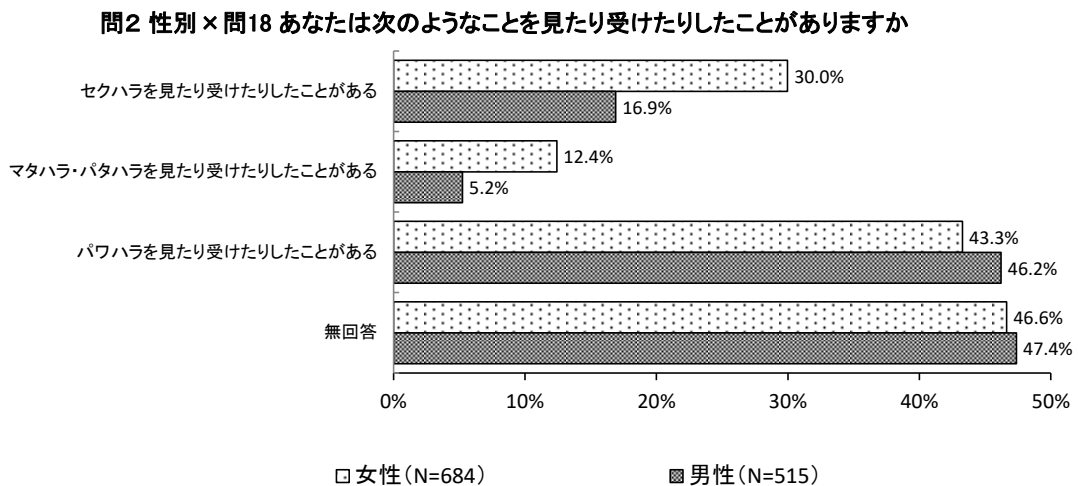
「パワハラを見たり受けたりしたことがある」が44.4%で最も高く、次いで「セクハラを見たり受けたりしたことがある」が24.4%、「マタハラ・パタハラを見たり受けたりしたことがある」が9.3%となっています。

性別では、「セクハラを見たり受けたりしたことがある」は女性が30.0%であるのに対し男性が16.9%と女性が男性を大きく上回り、「マタハラ・パタハラを見たり受けたりしたことがある」も女性が男性を上回っています。

<全体>



<性別>



問 19 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活動したりするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

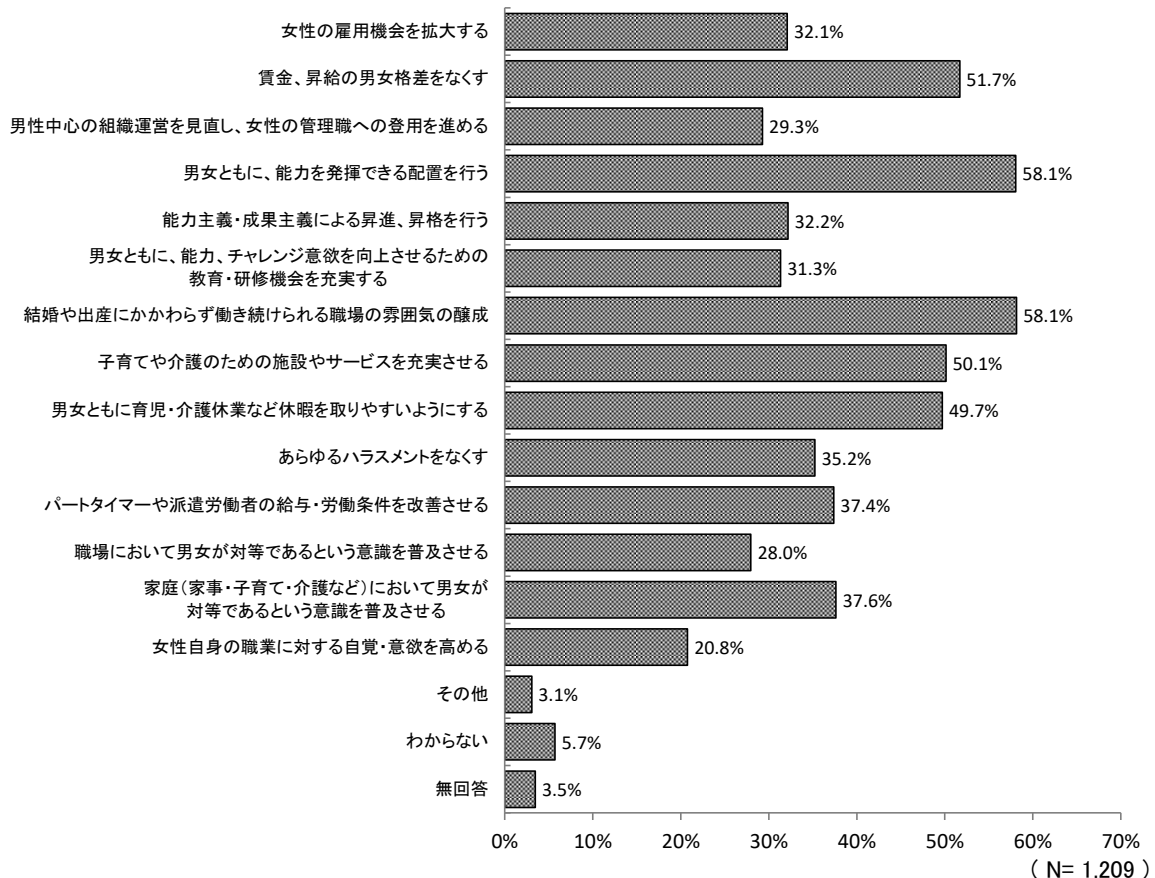
「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」と「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」がいずれも 58.1%で最も高く、次いで「賃金、昇給の男女格差をなくす」が 51.7%、「子育てや介護のための施設やサービスを充実させる」が 50.1%となっています。

性別では、「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」で女性 63.2%に対して男性 52.0%、「家庭（家事・子育て・介護など）において男女が対等であるという意識を普及させる」で女性 42.3%に対して男性 31.5%、「パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善させる」で女性 41.8%に対して男性 31.7%と、それぞれ女性が 10%以上男性を上回っています。

年代別では、10代は「男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする」が 60.7%で最も高いのに対し、20代、30代、40代は「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」がそれぞれ 65.0%、70.0%、59.8%で最も高く、60代、70代以上は「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」がそれぞれ 60.5%、47.4%で最も高くなっています。

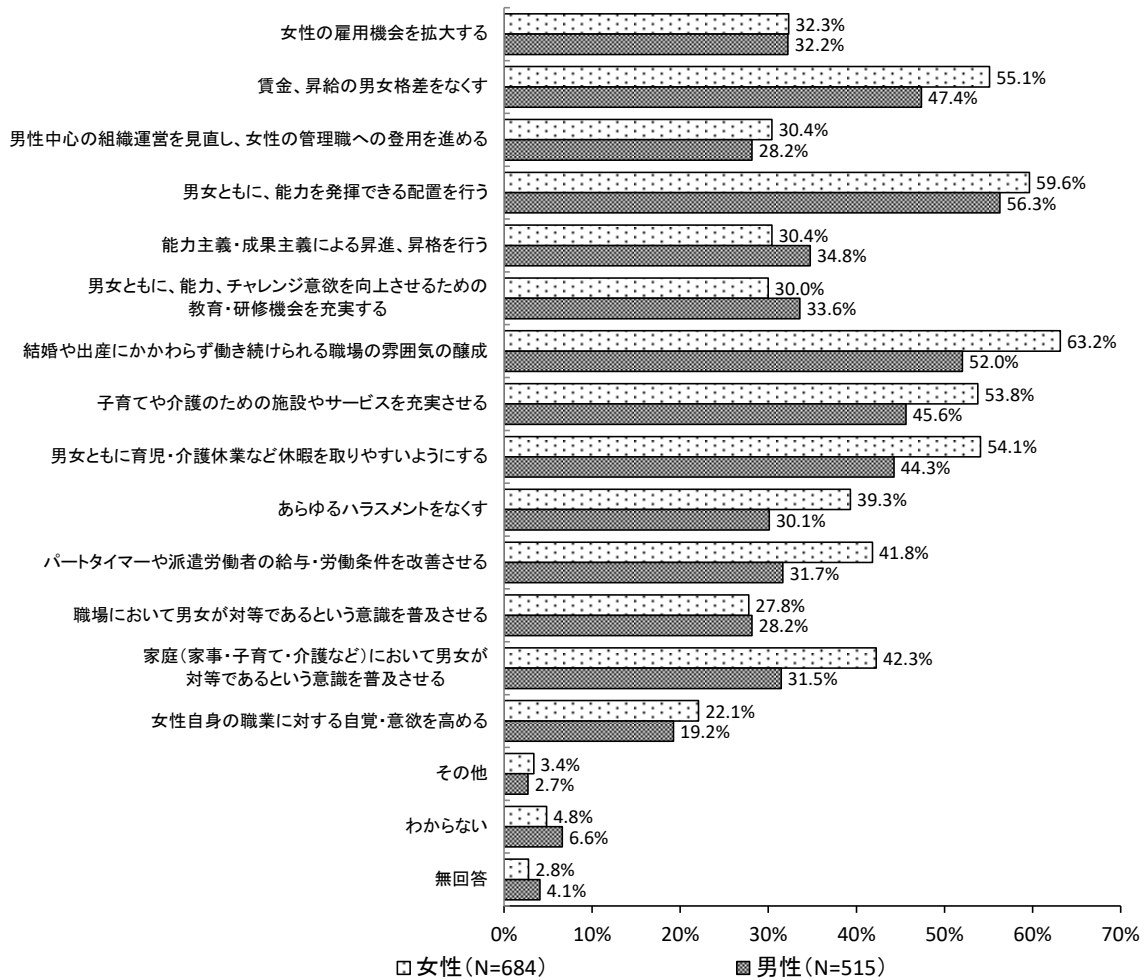
<全体>

問19 男女が対等に働き、社会で活動するためには、どのようなことが必要だと思いますか



<性別>

問2 性別×問19 男女が対等に働き、社会で活動するためには、どのようなことが必要だと思いますか



<年代別>

問1 年代別×問19 男女が対等に働き、社会で活動するためには、どのようなことが必要だと思いますか

